

御ノ跡ニテハ傳奏ヲハジメ所司議奏ナド參ラルベシ、コノ饗應ニハ權之進タチ參リテハヤシ
ナドアルベキカト仰ラル、申モ恐アルコトナガラ、何ノコトニモセヨ、天下ノ式トナルコトハコ
レアルベキコトナリ、御身ノタメノミナラズ、御上ノ御爲ニモ然ルベカラズ、初テノ御コト重テ
ハトモカクモ此タビハカクアルベキコト、奉恐察、イツモノ拜賀元服ナド、ハチガヒテ、殊外
ニ心遣ヒナルコトナリ、渡御ノ間ハ諸卿ヲ初トシテ末マデ不殘平折敷ナリ、還幸ノ跡ノ饗應ハ、
大臣ハ大臣、公卿ハ公卿、殿上人ハ殿上人ト、夫々ニ膳部ヲカヘテ、三寶モアレバ足打立モアリ、勿
論平折敷モアリ、夫ユエ二段ニナリテ、別シテヤカマシキコトナリト仰ナリ、十九日、昨日渡御
御祝儀參候、昨日ハ隨分ノ御機嫌ニテ、朝モ正辰刻渡御ニテ、御獻上引ワタシナド相スミテ、乘馬
御覽、御方ノ輿ヨセノ前ヲ馬場トシ、竹ヲ渡シ、叡覽ノ假座ニムラサキノ幕ヲ引、最中ニ御簾ヲ下
シ、前ノ椽ガハニ高欄ヲツケテ、簾外ニ准后關白ノ御座アリ、乘馬ハ左衛門、一角、甚内、新八ナリ、夫
ヨリ御庭御覽、御泉水ノ築山ノ上ニハ、初葺松葺ヲ多ク植ラレタリ、寢殿段上マデ御步行ニテ還
幸、御料理スミテ御靈祭御覽、御格子ノ前ニ神輿ヲ下シ奉幣ナドアリ、還幸ノ後御出スグニ初更
前ニ還幸ノヨシ、前ニ記スゴトク上へ獻上ヲ初メトシテ、女中下々マデ引出物アリ、アナタヨリ
モ御ミヤゲアリ、上ヲ初トシテ諸大夫隱居諸大夫近習青士女中方不殘下サレモノアリ、

〔二中歷人代〕薨逝太子

菟道稚郎皇子 應神一御子

木梨輕王 允恭子

厩戸皇子 用明子 號聖德太子

草壁皇子 天武子 文武父

聖武皇子 不知名